平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名　一正蒲鉾株式会社　　上場取引所　大
コード番号　2904　URL　http://www.ichimasa.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 野崎　正博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 滝沢　昌彦　TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	6,474	6.6	59	―	60	―	△34	―
23年6月期第1四半期	6,075	2.7	△112	―	△118	―	△100	―

(注)包括利益　24年6月期第1四半期　8百万円　(―%)　23年6月期第1四半期　△91百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	△3.68	―
23年6月期第1四半期	△10.83	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第1四半期	19,606	5,775	29.5	623.52
23年6月期	17,770	5,859	33.0	632.61

(参考) 自己資本　24年6月期第1四半期　5,775百万円　23年6月期　5,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	―	0.00	―	10.00	10.00
24年6月期	―				
24年6月期(予想)		0.00	―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,800	2.0	1,220	0.6	1,250	3.7	700	5.2	75.57
通期	29,800	0.6	1,270	△17.6	1,300	△14.6	680	333.0	73.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) (株)ノザキフーズ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期1Q	9,295,000 株	23年6月期	9,295,000 株
② 期末自己株式数	24年6月期1Q	32,652 株	23年6月期	32,652 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期1Q	9,262,348 株	23年6月期1Q	9,263,988 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成23年７月１日～平成23年９月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの早期復旧などにより持ち直し傾向にあるものの、顕在化した電力供給に対する懸念や欧米を中心とした海外経済の減速、円高の進行など先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、震災の影響により国内景気が低迷するなか、消費者の生活防衛意識や節約志向・低価格化志向の一層の高まりなどから依然として厳しい状況が続きました。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の確保に努めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高64億74百万円（前年同四半期比３億98百万円（6.6％）の増加）、営業利益は59百万円（前年同四半期は営業損失１億12百万円）、経常利益は60百万円（前年同四半期は経常損失１億18百万円）、四半期純損失は34百万円（前年同四半期は四半期純損失１億円）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下の通りであります。

①　水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、震災による消費者の節約志向の高まりや省電力対応から家庭での食事の機会が増えた一方、原材料資材のコスト上昇にもかかわらず引き続くデフレ環境のなかで、競合企業との競争も依然として厳しい状況で推移いたしました。

今夏は早期の梅雨明けと、その後の猛暑、さらに９月中旬まで続いた残暑など、昨年の猛暑ほどの気温上昇はなかったものの長期間に及ぶ高温の継続により、水産練製品の需要にとっては厳しい環境で推移いたしました。

このような環境のなか、夏季期間は、カニ風味商品群の冷麺メニューへの利用用途訴求や揚物主力品の焼きメニュー提案など、水産練製品の利用機会の拡大を目指して販売促進活動を積極的に行うとともに、風味とうふなどの夏季商材における新商品の投入を実施いたしました。

また、９月からは、「おでんセット」の商品力向上など、おでん商材のリニューアルを図り、また美味しさと簡便性から需要の拡大が続く調理済みおでんにおいては生産性及び生産能力の向上を図り、おでん需要の立ち上がりに対応してまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は54億85百万円（前年同四半期比４億９百万円（8.1％）の増加）、セグメント利益（営業利益）は11百万円（前年同四半期は２億21百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。

②　きのこ事業

当セグメントにおきましては、震災影響による消費の低迷、原子力発電所の事故による風評被害から野菜価格が低迷し、きのこ価格も前年と比べ軟調で推移いたしました。

このような環境のなか、販売強化により販売量は前年を上回ったものの、売上高・利益は前年同四半期を下回る実績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は８億52百万円(前年同四半期比42百万円（4.8%）の減少)、セグメント利益（営業利益）は35百万円（前年同四半期は１億９百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③　その他

（運送・倉庫事業）

運送部門におきましては、燃料価格の上昇等のマイナス要素もあったものの、新規取引の増加や既存取引も順調に推移し、売上高・利益とも前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫部門におきましては、震災の影響により新規入庫数量が増加し、保管能力を上回る保管状況となり再保管関連経費が増加したものの、売上高・利益とも前年同四半期を上回る結果となりました。

（ゴルフ場事業）

ゴルフ場事業におきましては、長引く景気低迷や競合コースとの価格競争の激化が続いたものの、集客力向上に向けた営業活動の強化により、来場者数、売上高とも前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は１億35百万円（前年同四半期比31百万円（30.1%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は10百万円（前年同四半期は１百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　流動資産

当第１四半期連結会計期間末における流動資産の残高は64億61百万円（前連結会計年度末比12億47百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による受取手形及び売掛金の増加、需要期に備えた商品及び製品、仕掛品の増加によるものであります。

②　固定資産

当第１四半期連結会計期間末における固定資産の残高は131億45百万円（前連結会計年度末比５億89百万円の増加）となりました。これは主に新工場建設に伴う建設仮勘定の増加によるものであります。

③　流動負債

当第１四半期連結会計期間末における流動負債の残高は99億77百万円（前連結会計年度末比23億74百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④　固定負債

当第１四半期連結会計期間末における固定負債の残高は38億53百万円（前連結会計年度末比４億53百万円の減少）となりました。これは主に役員退職慰労金の支給に伴う役員退職慰労引当金の減少によるものであります。

⑤　純資産

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少、配当金の支払等により57億75百万円（前連結会計年度末比84百万円の減少）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の33.0%から29.5%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績は概ね当初予想した状況で推移しており、平成23年７月29日発表の第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社ノザキフーズは、平成23年７月１日付で当社に吸収合併されたことにより、連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,000,118	803,414
受取手形及び売掛金	2,267,563	3,155,843
商品及び製品	418,615	620,610
仕掛品	334,943	486,120
原材料及び貯蔵品	1,041,244	1,083,346
その他	151,648	312,255
貸倒引当金	△466	△507
流動資産合計	5,213,667	6,461,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,629,885	4,573,472
機械装置及び運搬具（純額）	1,772,748	1,873,163
工具、器具及び備品（純額）	122,314	125,810
土地	3,652,781	3,652,781
リース資産（純額）	35,747	47,644
建設仮勘定	93,406	566,953
有形固定資産合計	10,306,883	10,839,825
無形固定資産	241,665	240,627
投資その他の資産		
投資有価証券	1,405,898	1,469,112
その他	671,337	664,648
貸倒引当金	△69,284	△68,621
投資その他の資産合計	2,007,950	2,065,139
固定資産合計	12,556,500	13,145,592
資産合計	17,770,167	19,606,675
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,426,867	1,751,660
短期借入金	4,640,368	6,358,568
未払法人税等	213,394	19,720
賞与引当金	100,218	197,717
未払金及び未払費用	1,073,631	1,214,058
その他	148,521	435,967
流動負債合計	7,603,001	9,977,691
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	3,096,687	2,829,044
退職給付引当金	1,017	1,073
役員退職慰労引当金	436,566	117,361
その他	273,420	406,288
固定負債合計	4,307,691	3,853,766
負債合計	11,910,692	13,831,458

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	4,173,724	4,046,975
自己株式	△16,471	△16,471
株主資本合計	5,747,253	5,620,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,222	154,712
その他の包括利益累計額合計	112,222	154,712
純資産合計	5,859,475	5,775,217
負債純資産合計	17,770,167	19,606,675

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年７月１日 至 平成22年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年７月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	6,075,497	6,474,024
売上原価	4,598,628	4,863,402
売上総利益	1,476,868	1,610,621
販売費及び一般管理費	1,589,092	1,551,089
営業利益又は営業損失（△）	△112,223	59,532
営業外収益		
受取利息	212	151
受取配当金	3,449	2,780
受取賃貸料	5,607	5,436
受取手数料	13,175	10,850
雑収入	10,983	10,257
営業外収益合計	33,428	29,476
営業外費用		
支払利息	32,031	27,586
雑損失	7,976	447
営業外費用合計	40,008	28,033
経常利益又は経常損失（△）	△118,803	60,975
特別利益		
固定資産売却益	5	869
投資有価証券売却益	791	－
貸倒引当金戻入額	2,488	－
受取保険金	7,098	－
特別利益合計	10,384	869
特別損失		
固定資産除却損	1,777	6,395
投資有価証券評価損	429	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,303	－
役員退職慰労金	－	94,171
災害による損失	－	27,357
工場移転費用	－	2,287
特別損失合計	20,509	130,212
税金等調整前四半期純損失（△）	△128,929	△68,367
法人税、住民税及び事業税	7,237	15,119
法人税等調整額	△35,867	△49,400
法人税等合計	△28,630	△34,280
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△100,298	△34,086
四半期純損失（△）	△100,298	△34,086

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△100,298	△34,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,102	42,490
その他の包括利益合計	9,102	42,490
四半期包括利益	△91,196	8,403
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,196	8,403
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年９月30日）

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成22年７月１日　至　平成22年９月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	水産練製品・惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,075,666	895,282	5,970,948	104,549	6,075,497	―	6,075,497
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	355,998	355,998	△355,998	―
計	5,075,666	895,282	5,970,948	460,547	6,431,496	△355,998	6,075,497
セグメント利益又は損失(△)	△221,716	109,280	△112,436	1,087	△111,349	△874	△112,223

（注）1　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2　セグメント利益の調整額△874千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年９月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	水産練製品・惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,485,312	852,745	6,338,057	135,966	6,474,024	―	6,474,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	356,859	356,859	△356,859	―
計	5,485,312	852,745	6,338,057	492,825	6,830,883	△356,859	6,474,024
セグメント利益	11,590	35,097	46,687	10,880	57,568	1,964	59,532

（注）1　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2　セグメント利益の調整額1,964千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年９月30日）

該当事項はありません。